
幻想を見た少女の涙。

だらぼの

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

幻想を見た少女の涙。

【NZコード】

N0448Z

【作者名】

だらぼの

【あらすじ】

聖なる夜の日、私は事故で死にました 漫画のような

死に方でこの世を去った少女。これは死んだ少女が見た幻想話。ただの自己満足作品ですので、温かい目で見てください。

プロローグ・事故

小さい頃、私は事故に遭つてしましました。

子猫が車道に飛び出し、助けようとただけなのです。

黒く、大型車なのを覚えています。

世界が灰色になると、車から人が出てきました。若い男です。
男は私を見ると、悲鳴をあげ、そして 車を走らせ、逃げてしまいました。

残された私は、痛みを感じながら、灰色の世界の中に埋まってしまいました。

12月25日。聖なる夜のことでした。

そして、私は死んでしまいました。

あの時はまだ、17歳でした。

1話目・赤ん坊

気がつくと、そこは真っ白なベッドの上だった。

家具も白、服も白、壁はもちろん白。

誰の部屋か分からぬ。・・・誰の部屋？

ベッドから出て、辺りを見回す。

暖かい毛布に包まっていたせいか、床が酷く冷たく感じられる。
扉を開けようとすると、ノックの音がした。

きっと、部屋の主だろう。

私がいるから寝れなかつたんだろう。申し訳ないことをした・・・。
謝つといったほうが良いだろうか。

私はそう思い、扉を開ける。

「！？」

扉を開けたとき、驚いた。

目の前には小さな赤ん坊がいたのだが、その赤ん坊は顔を隠すよう
にフードを被り、何食わぬ顔で部屋に入ってきたのだから。
入ってきた赤ん坊は、机から何かを取り出し、私の手に置いた。

ストラップの鬼と猫だった。

「？？？」

私が疑問を抱えた顔をしていると、赤ん坊は答える。

「君が忘れてたもの。返しに来たよ」

赤ん坊はそう言い、付け足す。

「金はもううからね」

『ありがとう』

そつとおつとした。が、

声が出なかつた。

「?????」

「どうしたんだい？」

質問をされても、答えようがない。

私は静かに首を横に振る。

「・・・そう」

そして、赤ん坊は去つていった。

私は部屋のあらゆる引き出しを開け、紙がないかと探す。

「・・・」

あつた。

中に数枚絵が描いてある。

上手とは言えないが、丁寧に描いてある。

私は絵を千切り、スケッチブックを持って部屋を出た。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n0448z/>

幻想を見た少女の涙。

2011年12月1日21時00分発行